

令和元年度 事務事業評価(平成30年度実施事業事後評価)シート / 令和2年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報										整理番号	101							
事務事業名	体育振興事業費			補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	最終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決っていない	予算科目	区分	一般会計	款	10	項	06	目	01	事業	03
担当部	教育委員会	担当課	スポーツ振興課		担当係	振興係												
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画 (名称: スポーツ推進計画)				根拠法令及び市条例等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称: スポーツ基本法) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称:) <input type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称:)												

2 事務事業の目的

当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。

現状課題	少子高齢化に伴い体育協会やスポーツ少年団への加盟減少や国民体育大会開催を間近に控え、業務量増加に伴い職員の支援業務の負担増となっている現状を踏まえ、団体の事業運営が課題となっている。	誰・何を対象に	市民で構成する各種スポーツ団体	望ましい状態	各種スポーツ団体が主体的に活動を展開するとともに、互いに交流し合うことでスポーツによる活力ある地域づくりができる状態にあること。
どのような方法・手順で			各種スポーツ団体が加盟する体育協会やスポーツ少年団の自主的な運営を図りながら、事業の支援を継続していく。		

3 事務事業の主たる成果指標

数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。

指標名	加盟団体数	単位	団体	目標値	76	目標年次	2020	年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	少子高齢化の影響により、加盟団体数の減少傾向の中で、現在の加盟団体の維持を目標値とする。
-----	-------	----	----	-----	----	------	------	----	-------------------------------------	--

4 事務事業の実績

当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。

年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度													
	業務名	活動量	業務名	活動量	業務名	活動量												
事務事業を構成する主な業務	1 常総市体育協会への補助	37団体	1 常総市体育協会への補助	37団体	1 常総市体育協会への補助	36団体												
	① 復興チャリティゴルフ大会・地区対抗ゴルフ大会	1団体	① 復興チャリティゴルフ大会・地区対抗ゴルフ大会	1団体	① チャリティゴルフ大会・地区対抗ゴルフ大会	1団体												
	② 社会人野球大会(春・秋)	1団体	② 社会人野球大会(春・秋)	1団体	② 社会人野球大会(春・秋)	1団体												
	③ 学童野球大会(春・秋)	1団体	③ 学童野球大会(春・秋)	1団体	③ 学童野球大会(春・秋)	1団体												
	④ 近隣中学校球技大会	7団体	④ 近隣中学校球技大会	7団体	④ 近隣中学校球技大会	7団体												
	2 常総市スポーツ少年団への補助	38団体	2 常総市スポーツ少年団への補助	39団体	2 常総市スポーツ少年団への補助	39団体												
	① 夏季ジュニアリーダー研修会	9団体	① 夏季ジュニアリーダー研修会	6団体	① 夏季ジュニアリーダー研修会	8団体												
	② 体カテスト会	8団体	② 体カテスト会	9団体	② 体カテスト会	9団体												
	③ 常総ブロック交流会	2団体	③ 常総ブロック交流会	3団体	③ 常総ブロック交流会	18団体												
					④ 全国スポーツ少年茨城大会													
	目標値に対する実績値		75 団体	目標値に対する実績値		76 団体	目標値に対する実績値		75 団体									
	決算額	計	5,666,271 円	内訳	特定財源		円	計	5,945,276 円	内訳	特定財源		円	計	4,645,520 円	内訳	特定財源	
		(住民一人あたりの行政コスト)	93 円			(住民一人あたりの行政コスト)	98 円					(住民一人あたりの行政コスト)	77 円					

5 担当者評価

実施したことによる成果や問題点を記入してください。

成果	ほぼ目標どおり	成果内容	平成30年度市スポーツ少年団事業運営及び市体育協会事業運営の支援 平成30年度全国スポーツ少年団茨城大会開催による準備運営への参加
問題点			・会員、団体数の減少 ・団体の運営見直し
評価理由			・少子高齢化により、加盟団体の減少は見られるものの、国体やオリンピック開催により市民のスポーツに対する関心が高まっている。スポーツ人口の増加や自主活動の活性化のためにも継続的なスポーツ団体への支援が必要である。

6 担当部長及び担当課長評価

担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。

事務事業の方向性

拡充 現行どおり 縮小 休止・廃止

7 実施計画

今後3年間の事業内容について、どのようなことをどの程度実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の「歳出の計」と「歳入の計」は一致させてください。

年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度													
	業務名	活動量	業務名	活動量	業務名	活動量												
事業内容	1 常総市体育協会への補助	36団体	1 常総市体育協会への補助	36団体	1 常総市体育協会への補助	36団体												
	① チャリティゴルフ大会・地区対抗ゴルフ大会		① チャリティゴルフ大会・地区対抗ゴルフ大会		① チャリティゴルフ大会・地区対抗ゴルフ大会													
	② 社会人野球大会(春・秋)		② 社会人野球大会(春・秋)		② 社会人野球大会(春・秋)													
	③ 学童野球大会(春・秋)		③ 学童野球大会(春・秋)		③ 学童野球大会(春・秋)													
	④ 近隣中学校球技大会		④ 近隣中学校球技大会		④ 近隣中学校球技大会													
	2 常総市スポーツ少年団への補助	35団体	2 常総市スポーツ少年団への補助	35団体	2 常総市スポーツ少年団への補助	35団体												
	① 夏季ジュニアリーダー研修会		① 夏季ジュニアリーダー研修会		① 夏季ジュニアリーダー研修会													
	② 体カテスト会		② 体カテスト会		② 体カテスト会													
	③ 常総ブロック交流会		③ 常総ブロック交流会		③ 常総ブロック交流会													
			3 スポーツによる地方創生官民連携プラットフォーム	2か所	スポーツによる地方創生官民連携プラットフォーム													
	目標値に対する実績値		71 団体	目標値に対する実績値		71 団体	目標値に対する実績値		71 団体									
	成果指標	指標名	加盟団体数	単位	団体	目標値	71	指標名	加盟団体数	単位	団体	目標値	71	指標名	加盟団体数	単位	団体	目標値
予算額	歳出	計	4,706 千円		歳出	計	5,299 千円		歳出	計	4,110 千円							
		特定財源				特定財源				特定財源								
	歳入	一般財源	4,706 千円		歳入	一般財源	5,299 千円		歳入	一般財源	4,110 千円							
		計	4,706 千円			計	5,299 千円			計	4,110 千円							

8 財務アドバイザーの見解

『常総市財政健全化計画』では、2017～2019年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は2020年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いことが期待される2019年度の一般財源予算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。

9 行政改革懇談会(市民)の意見

担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。スポーツ人口拡大のメリットは健康寿命につながるため継続的支援は必要である。ただし、参加者数の減少などが見られるのであれば、内容を精査、分析し、事業を見直すことも必要である。

10 最終評価(行政改革推進本部)

事務事業の方向性

拡充 現行どおり 縮小 休止・廃止

評価理由

少子高齢化により、加盟団体の減少は懸念されるが、スポーツによる活力ある地域づくりのためには、市内競技団体と協力し振興事業は継続すべきである。いばらき国体やオリンピックを契機に、スポーツ人口の増加に努めること。

11 事務事業の改善理由及び改善部分

事業内容

体育協会・スポーツ少年団とも、本来あるべき主体性・自主性をもった運営を行っていきけるように支援していく。それが、事務の削減につながる。また、2018年度まで実施していた体育協会主催の「親子deいきいきスポーツフェスタ」は、2019年度茨城国体開催により中止とした。来年度以降、それに代わる事業を体育協会と一緒に企画し、完成したサイクリングロードの活用を視野に入れ、多くの市民が有意義で1日楽しめるイベントを実施したい。